

国際シンポジウム



炭素税・ エネルギー税 と国際連携

8/2 (土)

18:00-21:00

定員：200名 参加費：¥500 (JACSES会員は無料)

YMCAアジア青少年センター
スペースY

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-5-5

主催：「環境・持続社会」研究センター(JACSES) 協力：炭素税研究会

持続可能な社会を実現する手段として、環境税の検討・導入が世界的に進展しています。日本では、地球温暖化対策を目的とした環境税・炭素税の導入が、環境省などで本格的に検討が開始されました。

炭素税は、「課税率」「得られる税収の使途(温暖化対策目的の特定財源化か一般財源化か)」「既存のエネルギー税制との関連」「他の温暖化防止政策(排出量取引など)との関係性」などの実に多様な論点を有し、炭素税導入の際の目的や理念(どの程度の温室効果ガス削減を狙うか、経済や雇用に対しどのような影響を与えることを狙うか、低所得者に対してどのような配慮を行うか)によって、制度も大きく異なります。

本シンポジウムでは、炭素税の導入先進国である欧州の事例、日本・米国での炭素税論議を概観し、日本・米国での炭素税導入の課題と可能性、欧州の炭素税制度の改善策、そして、日本・米国・欧州による国際連携のあり方について議論します。

PROGRAM

【第一部：講演】

欧州の炭素税導入先進国の課題・提言

：クリスチャン・イーグ (Ecological Council)

世界の炭素税の状況/効果と米国における議論

：アンドリュー・ホーナー (Redefining Progress)

日本の炭素税導入論議の現状と環境・経済への効果

：伊藤 康 (千葉商科大学) 足立 治郎 (JACSES)

【第二部：パネルディスカッション】

パネラー：アンドリュー・ホーナー クリスチャン・イーグ

ニルス・アクセル・ブラーテン (OECD本部)

佐野 郁夫 (環境省総合環境政策局環境経済課長)

伊藤 康 足立 治郎 他

お申し込み、お問い合わせは

JACSES

「環境・持続社会」研究センター

<http://www.jacses.org/>

〒106-0047 東京都港区南麻布

5-2-32 興和広尾ビル2F

tel. 03-3447-9515

fax. 03-3447-9383

@mail: jacses@jacses.org

申し込み方法：

・ウェブサイトの場合：JACSESのウェブサイト (<http://www.jacses.org/>) の送信フォーマットに従って送信ください。

・FAXの場合：氏名、所属、メールアドレス、電話番号を記入し、セミナー参加の旨をFAXにて下記までお送りください。



webからお申し込み



FAX
03-3447-9383

～会場案内～

都営三田線
水道橋駅

JR LINE

JR水道橋駅

白山通り

日大経済学部
<本館>

日大経済学部
<5号館>

GREEN HOTEL

至 御茶ノ水

至 神保町

神田女子園

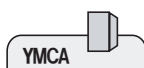
明大付属明治中高

至 神保町

・JR水道橋駅東口徒歩5分

・都営三田線水道橋駅

A2出口徒歩8分



YMCA
アジア青少年センター

tel. 03-3233-0611

持続
社会と
資金
ウィーク

2003

※ 本企画は国際交流基金日米センター、環境事業団地球環境基金、Rockefeller Brothers財団より助成を受けています。